

主催：大阪市立大学創造都市研究科
都市共生社会研究分野

シンポジウム

都市はだれのものか？

～都市大阪の過去・現在・未来から考える～

いま都市が、とりわけ大阪が、私たち市民の手から奪い取られようとしています。翼賛化したメディアを介して、粗野な新自由主義イデオロギーと危機煽りのデマゴギーが蔓延し、それらを背景として、大阪の市政と府政の中枢に侵入し、そこに居座った篡奪者たちは、都市大阪の「場所」や空間を、景観を、文化を、そして私たち市民の生活基盤そのものを、ズタズタに切り裂き、そして叩き売ろうとしています。さまざまな公共施設や文化施設、地下鉄をはじめとする公共交通機関、水道事業や環境事業などの公共サービス、これらの市民の共有財産が「民営化」の名のもとに、資本家や営利企業に払い下げられようとしています。いまや、現代版「官業払下げ」が始まろうとしているのです。

私たちは、「市民の都市」大阪を、ビジネスと投機の対象にしてはならないと考えています。大阪は私たち市民の生活の場なのですから。そしてさらには、都市大阪の自治と自由と抵抗の伝統を決して手離してはならないとも考えています。いま進行しつつある野蛮な企てに抗して、都市（大阪）を市民の手に、民衆の手に、取り戻すために、いま私たち市民は何をなすべきなのでしょう？ このシンポジウムを出発点にして、真摯な議論と、そして行動を、開始したいと考えています。多くの市民の皆さんの参加を呼びかけます。

（話題提供者）

酒井隆史さん（大阪府立大学教員）

杉村昌昭さん（龍谷大学名誉教授）

吉村元男さん（造園家・都市環境デザイナー）

（司会）

鳥和博（大阪市立大学教員）

日時：2013年12月7日（土曜日） 18：30～21：30（18：00開場）

場所：大阪市立大学創造都市研究科梅田サテライト101教室

大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階（JR北新地駅真上）

予約不要、参加無料

問い合わせ（e-mail）：info@co-existing.com